

2014年度「研究部会活動記録」

現代政治経済研究所

部会主任名	野口 晴子	研究部会名	問題解決型プロジェクト グローバル法学際研究部会
研究課題： トランスナショナルなレベルでの政治・経済・法に関する学際研究 ― 環境・医療・福祉、金融、土地、エネルギーにおける市場と規制の比較			
月/日	活 動 記 録		
8月1日	第三回打ち合わせ 於：早稲田大学楠亭 1. プロジェクト全体の計画立案について 2. 多分野にわたる参加者が協同して研究目的を達成するための意見交換と情報共有 3. 今後の研究会の予定について 1、研究会、2、シンポジウム（学生向け）、3、比研との共同シンポジウム 【（1）Law and Sustainability― 「持続可能社会」法学の樹立を展望して―（2）広井良典教授招聘ミニシンポ（3）内田節氏招聘ミニシンポ（4）山室信一教授招聘ミニシンポ】 を今年度中に開催予定。1については昨年度内の打ち合わせにおいて一定程度具体的な話がなされている。2については政治経済学術院の学生を主たる対象とすることを予定していることから、野口・齋藤両教授に中心となって構想を練る。3の（1）については既に開催済み（2014年4月26日（土）13時30分～：於早稲田大学早稲田キャンパス8号館3階会議室）だが、（2）～（4）については今後打ち合わせの後具体化を図る。		
10月29日	連続シンポジウム 「持続可能社会」法学の樹立を展望して（第2回） 緑の福祉国家（脱成長の福祉国家）の可能性 （早稲田大学比較法研究所主催・早稲田大学現代政治経済研究所共催） 於：早稲田大学早稲田キャンパス8号館3階会議室 ・基調講演： 広井良典（千葉大学教授）『緑の福祉国家（脱成長の福祉国家）の可能性―資本主義・社会主義・エコロジーの交差とコミュニティ経済―』 【コメント】 金融市場法の観点から 上村達男（早稲田大学教授） 医事法の観点から 甲斐克則（早稲田大学教授） 社会法の観点から 菊池馨実（早稲田大学教授） 基礎法の観点から 棚澤能生（早稲田大学教授）		

1月26日	学部生向けシンポジウム「この国の医療と介護について真剣に考えてみよう！「人口減少社会における医療と介護の在り方～これまで、いま、そして、これから～」」 於：早稲田大学早稲田キャンパス 27 号館 B2 階 小野記念講堂 （早稲田大学政治経済学術院 現代政治経済研究所主催） モデレーター：牛丸聡（早稲田大学政治経済学術院教授） 講演： 西村周三（京都大学 名誉教授／前国立社会保障・人口問題研究所 所長／社会保障審議会 会長） 報告タイトル：「医療・介護保障の将来－当面の政策課題と今後の見通し－」 森田朗（東京大学 名誉教授／現国立社会保障・人口問題研究所 所長／中央社会保険医療協議会 会長） 報告タイトル：「少子高齢化・人口減少時代における医療政策」
2月23日	連続シンポジウム 「持続可能性と世代間正義」 於：早稲田大学早稲田キャンパス27号館B2階 小野記念講堂 （早稲田大学比較法研究所主催・早稲田大学現代政治経済研究所共催） 趣旨説明：棚澤能生（早稲田大学法学部教授） 講演：宇佐美誠（京都大学大学院地球環境学堂教授） 報告タイトル：「世代間正義の分配理念」 コメント：齊藤純一（早稲田大学現代世辞経済研究所）
来年度の活動計画	本プロジェクトは、2014年度で終了のため、来年度の活動計画は無し。
終了の場合	研究成果刊行の時期：2015年1月 研究成果の公開方法：公開シンポジウムの開催（2015/1/26：実施済）